

## 様式

技術名称	SQS被覆システム	技術の分類	表面被覆工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	
会社名等	SQS工法協会	担当者	大西 政幸	連絡先	052-735-3991(ダイヤレックス内)
技術の概要	従来の塗装に比べ、ひび割れ追従性が格段に高く劣化因子の侵入を防ぐ。耐候性に優れ、塗装の改修頻度を軽減できる。		添付資料	パンフの有無	有
				その他の資料	協会資料 等
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超速硬化ウレタンの吹付け工法で、約14秒程度で硬化するため施工が早い。</li> <li>・ひび割れ追従性に優れ「表面保護工法設計施工指針(案)」による高追従1.0mm以上をはるかに上回る平均10.5mm追従する。</li> <li>・吹付け機械システムにて、材料混合で一定時間管理基準値から外れる状態が続いた場合に吹付けが自動で停止し、施工性・品質が向上する。</li> <li>・吹付け工法で硬化が早い為、上裏面・立ち上がり面・複雑な形状であっても垂れがなくシームレスな塗膜が形成される。</li> <li>・機械施工であるため、小面積(300㎡以下)の施工の場合コストアップとなる。</li> <li>・気温5℃以下・湿度85%以上の場合は施工不可。</li> </ul>		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財団法人 沿岸技術研究センター 「港湾関連民間技術の確認審査・評価報告書」 第15006号</li> <li>・一般財団法人 土木研究センター 「建設技術審査証明報告書」 建技審証 第0422号</li> </ul>	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。